

世界における男女格差の指標 (ジェンダーギャップ指数)とは?

世界経済フォーラムが発表する各国における男女格差を測る指標として、「ジェンダーギャップ指数」があります。

この指数は、「経済」、「教育」、「政治」、「健康」の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示しています。

2021年3月の日本の総合値は**0.656**、順位は、**156か国中120位**

(前年は153か国中121位)で、前回と比べてほぼ横ばいとなっています。

先進国(※G7:フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダ)の中では最低レベル、アジア諸国の中で韓国や中国、ASEAN諸国よりも低い結果となりました。

ジェンダーギャップ指数(2021) 上位国及び主な国の順位

順位	国名	総合値	前年値
1	アイスランド	0.892	0.877
2	フィンランド	0.861	0.832
3	ノルウェー	0.849	0.842
11	ドイツ ※	0.796	0.787
16	フランス※	0.784	0.781
23	イギリス※	0.775	0.767
24	カナダ ※	0.772	0.772
30	アメリカ※	0.763	0.724
63	イタリア※	0.721	0.707
81	ロシア	0.708	0.706
102	韓国	0.687	0.672
107	中国	0.682	0.676
120	日本 ※	0.656	0.652

各分野における日本の値

分野	値	前年値
健康	0.973(65位)	0.979(40位)
出生児性比、健康寿命の男女比		
教育	0.983(92位)	0.983(91位)
識字率や初等～高等教育就学率の男女比		
経済	0.604(117位)	0.598(115位)
管理的職業従事者や専門・技術者、労働参加率の男女比など		
政治	0.061(147位)	0.049(144位)
国会議員や閣僚の男女比など		

特に「**経済**」と「**政治**」分野が低いね!



編集後記

今回は、男女共同参画と多様性について考えることを主題としました。自分が好きになる対象が周囲と違うことや、自分の心と体の性が一致しないことで、生きづらさや不安を感じている人がいます。人はそれぞれ違います。自分と違う相手を否定するのではなく、相手の話を聞き、認め合うことで、多様性の尊重や男女共同参画推進につながると考えています。お互いを尊重し、生き生きと暮らせる社会を目指しましょう。

令和4年3月発行

編集 厚木市男女共同参画推進委員会

発行 厚木市協働安全部
市民協働推進課
厚木市中町3-17-17
厚木市役所 本庁舎1階



厚木市

ハあもこい

男女共同参画と 多様な性とは?



私たちが目指す男女共同参画社会とは、男女がお互いを尊重し、多様な生き方を選択することが可能で、家庭、地域、職場、学校などでその個性と能力を十分に発揮できる社会です。



男女共同参画社会ってなに？



男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ共に責任を担うべき社会。（男女共同参画社会基本法第2条）

参加と参画の違いはあるの？

- ◇ **参加**とは、すでにあるものに加わること。
例：〇〇ボランティアに参加したなど。
- ◇ **参画**とは、その活動の場において、計画の段階から加わり、主体的に関わること。
例：〇〇ボランティアを企画し、参加者を集めたなど。

いきなり「参画」は難しいので、

まずは「参加」から始めてみましょう！



男女共同参画社会における課題と現状は？

度重なる自然災害

多様化するライフスタイル

人口減少社会の到来

少子超高齢社会の進行



厚木市では、男女共同参画社会の実現のために・・・

第3次厚木市男女共同参画計画を策定しています！

基本目標を「男女がお互いを尊重し、いきいきと暮らせる社会をめざします」とし、それを達成するため、下記の5つの基本方針から構成され、平成30年度に策定しました。計画期間は平成30年度から令和4年度までです。

- ① 女性の様々な分野における活躍の推進
- ② ワーク・ライフ・バランスの充実
- ③ 男女共同参画の社会づくり
- ④ 安心・安全なくらしの実現
- ⑤ **男女のあらゆる人権の尊重**

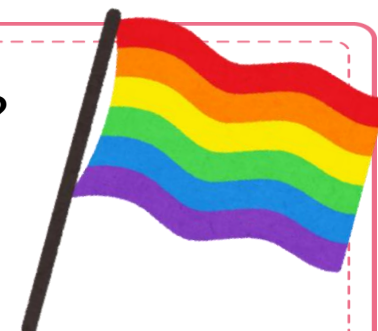


多様な性について考えてみましょう

あらゆる人権って何だろう・・・？

性のあり方は多様で、どんな人を好きになるか、自分がどんな人でありたいかは人それぞれ違います。同じ認識でいると、何気ない一言で相手を傷つけたり、不安にさせたりする場合があります。お互いが多様性を認め合えるよう、この機会に考えてみましょう。

「LGBT」という言葉を知っていますか？



- 【Lesbian】 レズビアン（女性の同性愛者）
- 【Gay】 ゲイ（男性の同性愛者）
- 【Bisexual】 バイセクシュアル（両性愛者）
- 【Transgender】 トランスジェンダー（心と体の性が一致しない人）

これらの頭文字を合わせた言葉です。LGBTは性的少数者を表す言葉の一つとされています。ほかにもQuestioning（自分の性のあり方がわからない、決めたくない人）やXgender（自分を男性・女性のいずれかとは認識していない・しない人）など、多様な性のあり方があります。

身近に性的少数者の方がいないと決めつけるのではなく、多様な性があることを意識してみましょう。

あらゆる人権の尊重の取組の一環として

厚木市では、令和4年4月1日から厚木市パートナーシップ宣誓制度を導入します！

お互いの人権を尊重し、個性や能力を發揮できる社会の実現を目指して、性的少数者（LGBT）や婚姻の届出をしない事実婚の方が抱えている悩みや生きづらさを軽減し、性の多様性に対する市民の皆様の理解を深めるため、厚木市パートナーシップ宣誓制度を導入します。

本制度は、婚姻とは異なり、法的な権利や義務が発生するものではなく、お互いを人生のパートナーとして、協力し合うことを約束した関係であることを宣誓し、行政が確認し、公的に認めるものです。

